

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年4月5日

厚労省データ：日本の新型コロナ自然感染率は40%台

【松崎雑感】

厚労省の最新データの紹介です。新型コロナウイルスの本体（ヌクレオカプシド）に対するN抗体を検査すると、このウイルスに感染した証拠が得られます。それによると日本人の4割程度が、すでに新型コロナウイルス既感染となっています。

従来の「抗体検査」は、ウイルス本体でなく、本体から出た「トゲトゲ」に対する抗体を測定していますので、ワクチン接種でも陽性になります。N抗体は、自然感染でしか要請にならないので、このウイルスに感染しているかどうかの判別ができます。

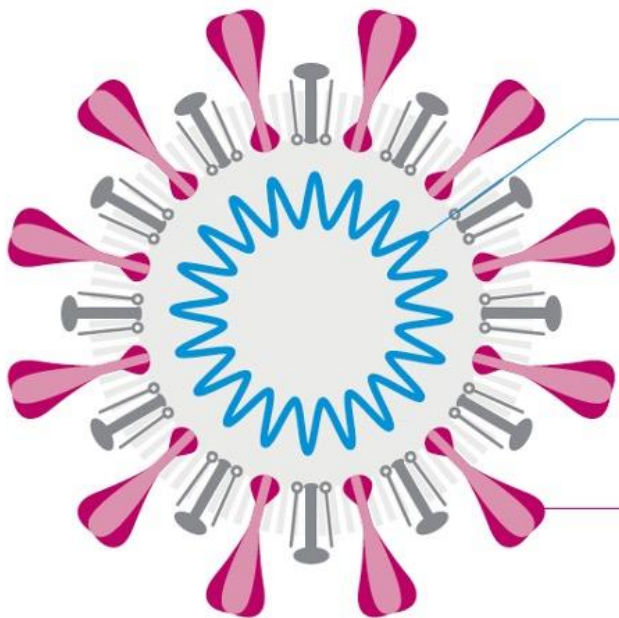
この検査で、日本に住む人々の6割近くが、まだ新型コロナに感染していないことがわかりました。ということは、これからも新規に感染する人々が膨大に存在するということになります。おのおの方、油断召さるるな！

N抗体が陽性 = 過去に新型コロナに感染した証拠

S抗体が陽性 = 過去に新型コロナに感染したか、新型コロナワクチンを接種したことを示す証拠

抗体検査の違いについて

新型コロナウイルスの構造



ヌクレオカプシドタンパク質 (N)

ヌクレオカプシドタンパク質に対する抗体 (IgG 抗体 (N)) の保有は、新型コロナウイルスに感染したことがある可能性を示唆します。



IgG 抗体 (N)

過去の自然感染を示唆

スパイクタンパク質 (S)

スパイクタンパク質に対する抗体 (IgG 抗体 (S)) は新型コロナウイルスに感染あるいはワクチン接種により中和抗体が産生された可能性を示唆します。



IgG 抗体 (S)

中和抗体が産生された可能性を示唆

(アボットジャパン合同会社資料より引用)

IgG抗体 (N) : Elecsys Anti-SARS-CoV-2 → 過去感染の判定

IgG抗体 (S) : ARCHITECT SARS-CoV-2 IgG II Quant → 過去感染の判定、ワクチン後の中和抗体活性

新型コロナに自然感染した人々は 日本国民の4割程度（N抗体陽性率）

第2回献血時の検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有率実態調査	
調査の目的	令和4年秋からの感染拡大（いわゆる第8波）等を踏まえた市中での感染状況の把握
実施主体	厚生労働省（日本赤十字社による協力のもと実施）
調査時期	令和5年2月19日～27日
対象者	令和5年2月19日～27日に、日本赤十字社の献血ルーム等を訪れた献血者 ^(※2) 13,121名 （必要な検体数は都道府県毎に異なる）
対象地域	全都道府県
測定項目	抗N抗体
統計分析	日本全体及び都道府県別の抗体保有率と95%信頼区間（CI） ^(※3) の推定（バイアスの補正なし）
測定結果 （速報値）	全体：42.3%（95%CI: 41.5 - 43.2%） ^(※4) （都道府県別等については別紙）

【資料5】[第2回献血時の検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有率実態調査 \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp)

新型コロナに自然感染した人々は福岡県59%、岩手県27%

第2回献血時の検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有率実態調査 (結果速報、都道府県別)

都道府県名	抗体保有率 (95%CI)	都道府県名	抗体保有率 (95%CI)	都道府県名	抗体保有率 (95%CI)
北海道	39.4% (33.7 - 45.3%)	石川県	40.5% (34.6 - 46.6%)	岡山県	45.0% (39.1 - 51.0%)
青森県	36.5% (30.7 - 42.6%)	福井県	40.7% (34.9 - 46.7%)	広島県	37.9% (32.4 - 43.6%)
岩手県	27.4% (21.7 - 33.6%)	山梨県	34.9% (29.1 - 41.0%)	山口県	42.7% (36.6 - 49.0%)
宮城県	37.1% (31.3 - 43.3%)	長野県	34.9% (29.0 - 41.2%)	徳島県	38.3% (32.3 - 44.5%)
秋田県	37.8% (31.7 - 44.2%)	岐阜県	48.3% (42.4 - 54.2%)	香川県	39.5% (33.8 - 45.4%)
山形県	39.1% (33.0 - 45.5%)	静岡県	39.2% (33.2 - 45.3%)	愛媛県	40.7% (34.7 - 46.9%)
福島県	31.7% (26.0 - 37.9%)	愛知県	51.8% (46.0 - 57.6%)	高知県	40.3% (34.4 - 46.4%)
茨城県	45.6% (39.4 - 52.0%)	三重県	39.8% (34.0 - 45.8%)	福岡県	59.4% (53.8 - 64.9%)
栃木県	41.0% (34.8 - 47.4%)	滋賀県	39.2% (33.5 - 45.1%)	佐賀県	52.5% (46.9 - 58.0%)
群馬県	43.4% (37.3 - 49.7%)	京都府	43.6% (37.8 - 49.5%)	長崎県	39.9% (34.2 - 45.9%)
埼玉県	46.2% (40.2 - 52.3%)	大阪府	50.2% (44.6 - 55.7%)	熊本県	45.9% (40.3 - 51.6%)
千葉県	38.6% (32.7 - 44.8%)	兵庫県	44.0% (38.2 - 49.9%)	大分県	41.2% (35.5 - 47.1%)
東京都	42.2% (36.8 - 47.8%)	奈良県	44.4% (38.6 - 50.4%)	宮崎県	43.5% (37.9 - 49.1%)
神奈川県	42.8% (36.8 - 48.9%)	和歌山県	35.9% (30.3 - 41.9%)	鹿児島県	51.5% (45.7 - 57.3%)
新潟県	33.5% (27.6 - 39.8%)	鳥取県	40.4% (34.5 - 46.4%)	沖縄県	58.0% (52.7 - 63.1%)
富山県	42.9% (36.7 - 49.1%)	島根県	40.7% (34.8 - 46.7%)		